

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	理学療法研究法 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	機能訓練室、運動生理学実習室
担 当 教 員	土居 潤平	実務経験と その関連資格	臨床および大学院での研究実務に従事した			
《授業科目における学習内容》						
近年、理学療法士においても他の医療従事者と同様に科学的根拠に基づく医療の提供が必要である。本講義では、研究方法はもとより研究方法を通じて治療選択の基礎となる文献の検索方法から吟味、治療の妥当性の検証方法を学び、理学療法士に対する業務内容について更に理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
出席点(20%)、課題提出点(80%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
グループごとに研究を行うため、個々の役割分担および各学生の積極的な姿勢が重要となります。						
《履修に当たっての留意点》						
グループごと(6グループ)に研究を行います。わからないことはそのつど解決するように努めてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	研究について学ぶ	配布資料	講義の復習を行う(60分) 研究方法・種類	
		各コマに おける 授業予定	研究方法、研究の種類			
第2回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	研究デザインについて学ぶ	配布資料	講義の復習を行う(60分) 研究計画書	
		各コマに おける 授業予定	研究計画書			
第3回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	研究デザインについて学ぶ	配布資料	講義の復習を行う(60分) 用語について	
		各コマに おける 授業予定	評価指標の選択、信頼性と妥当性			
第4回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	医療倫理について理解する	配布資料	講義の復習を行う(60分) 医療倫理のまとめ	
		各コマに おける 授業予定	医療倫理の4原則			
第5回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	研究倫理について理解する	配布資料	講義の復習を行う(60分) 研究倫理のまとめ	
		各コマに おける 授業予定	ヘルシンキ宣言、人を対象とする医学系研究の倫理指針			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	データの見方を理解する	配布資料	講義の復習を行う(60分) データ尺度について
		各コマに おける 授業予定	データの尺度の種類		
第7回	演習 実習形式	授業を 通じての 到達目標	データの見方を理解する	配布資料	講義の復習を行う(60分) 統計手法の再度確認
		各コマに おける 授業予定	統計学的検定法の概要		
第8回	演習 実習形式	授業を 通じての 到達目標	論文検索をインターネットで行うことができる	配布資料	講義の復習を行う(60分) 論文検索の実施
		各コマに おける 授業予定	論文検索		
第9回	演習 実習形式	授業を 通じての 到達目標	論文検索をインターネットで行うことができる	配布資料	講義の復習を行う(60分) 論文検索の実施
		各コマに おける 授業予定	論文検索		
第10回	演習 実習形式	授業を 通じての 到達目標	論文抄読を行う	配布資料	講義の復習を行う(60分) 論文を読み、要約する
		各コマに おける 授業予定	グループワーク		
第11回	演習 実習形式	授業を 通じての 到達目標	論文抄読を行う	配布資料	講義の復習を行う(60分) 論文を読み、要約する
		各コマに おける 授業予定	グループワーク		
第12回	演習 実習形式	授業を 通じての 到達目標	模擬研究の実施	配布資料	模擬研究のまとめ(60分)
		各コマに おける 授業予定	模擬研究		
第13回	演習 実習形式	授業を 通じての 到達目標	模擬研究の実施	配布資料	模擬研究のまとめ(60分)
		各コマに おける 授業予定	模擬研究		
第14回	演習 実習形式	授業を 通じての 到達目標	模擬研究の実施	配布資料	模擬研究のまとめ(60分)
		各コマに おける 授業予定	模擬研究		
第15回	演習 実習形式	授業を 通じての 到達目標	模擬研究の実施	配布資料	模擬研究のまとめ(60分)
		各コマに おける 授業予定	模擬研究		